



起業は「資金」なしでは考えられません。必要な「起業資金」をどのように調達するのかを検討することはとても重要なことです。

本章では、資金調達の種類を紹介します。

1. 資金調達の種類とは

資金調達の目的は、「初期投資にかかるお金の不足分を補う」、「何かプロジェクトを起こす際に必要な費用を補う」、「事業が安定するまでの運転資金」など「資金を得る」ことです。

企業を運営する上で、資金調達は非常に重要です。どのような資金調達の方法があるか確認しておきましょう。

資金調達の方法には大きく分けて3つあります。

「融資」…日本政策金融公庫や銀行、信用金庫などから借入して資金調達する方法

「出資」…個人や企業から資金提供を受けること

(クラウドファンディングやエンジェル投資家からの出資などが考えられます。)

「補助金及び助成金」…国や地方自治体が行っている制度を活用してする資金調達方法

2. 融資とは

(1) 融資の特徴は

融資の特徴は以下の点があります。

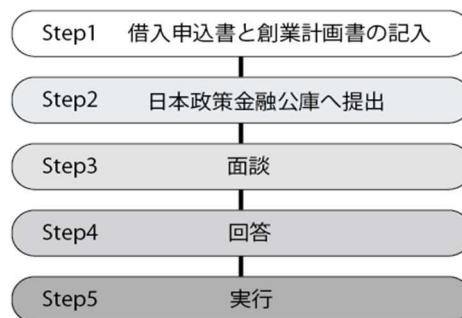
- ・資金調達までスピーディ
- ・リスクが低い
- ・安定感がある
- ・金額が大きい

(2) 融資はどこから受けられるか

融資は金融機関から受けることができます。金融機関は大きく分けて2種類あります。

- ・民間金融機関（銀行・信用金庫・信用組合など）
- ・政府系金融機関（日本政策金融公庫など）

融資の流れ（日本政策金融公庫の場合）



3. 出資とは

出資では、多額の資金調達が可能になります。事業内容が魅力的であれば誰でもチャレンジできる資金調達の方法です。返済義務がないことや、経営支援を受けられることなどは良い点ではありますが、投資家が経営に介入してくる可能性があるため、検討が必要です。

出資の種類について

(1) クラウドファンディング

クラウドファンディングとは、主にインターネット経由で不特定多数の人から資金や支援を募る方法のことで、少額からの出資も可能なため支援者（出資者）にとっても使いやすいのが特徴です。

(2) エンジェル投資家

エンジェル投資家とは、創業期のスタートアップ企業に出資する個人投資家のことをいいます。

エンジェル投資家の多くは引退した経営者や起業家などです。
エンジェル投資家から出資を受けるメリットは、

- ①毎月の返済義務がない
- ②出資までの判断が早い
- ③経営のアドバイスがもらえる
- ④人脈が広がる

逆にデメリットは、

- ①経営に過度に口出しされる
 - ②経営決定権に支障が出る
- などが考えられます。

(3) ベンチャーキャピタル

ベンチャーキャピタルとは、ベンチャー企業やスタートアップ企業など高い成長が予想される未上場企業に対して出資を行う投資会社のことをいいます。

ベンチャーキャピタルの種類には、

①民間系のベンチャーキャピタル

銀行や、証券会社、保険会社や、事業会社、商社が運営するベンチャーキャピタル

②政府系ベンチャーキャピタル

国などが出資し、中小企業の育成や新産業の創出をサポートするベンチャーキャピタル

③大学系ベンチャーキャピタル

新産業の創出によって社会の発展に貢献することを目的としたベンチャーキャピタル

などがあります。

出資を受ける方法も様々あります。自分の企業にあった方法で資金調達は検討していきましょう。

4. 補助金・助成金とは

(1) 補助金とは

補助金は、国や自治体の政策目標（目指す姿）に合わせて、さまざまな分野で募集されており、事業者の取り組みをサポートするために資金の一部を給付するというものです。

公益性（公共の利益になりうるか）が求められるため、一定の条件や申請、審査が必要になり、採択された場合に支給されるものです。募集している時期や内容は様々なため常日頃からチェックしておくことが大切です。

補助金例

<国の制度>

●小規模事業者持続化補助金

小規模事業者持続化補助金は小規模事業者が行う販売開拓等の取り組みに要する経費の一部を支援する制度です。

●ものづくり補助金

中小企業等が取り組む革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資を支援する制度です。

●IT 導入補助金

中小企業・小規模事業者等が今後複数年にわたり相次いで直面する制度変更等に対応するため、生産性の向上に資する IT ツール（ソフトウェア、サービス等）を導入するための事業費等の経費の一部を支援する制度です。

●事業再構築補助金

ウィズコロナ・ポストコロナの時代の経済社会の変化に対応するために新分野展開、業態転換、事業・業種転換、事業再編又はこれらの取組を通じた規模の拡大等の思い切った事業再構築に係る経費の一部を支援する制度です。

<名古屋市の制度>

●スタートアップ企業支援補助金

市内で新たに創業する方や、新しい取り組みにチャレンジする創業後 5 年以内の市内中小企業者に対して、創業時等に必要経費の一部を助成する制度です。

●スタートアップ等販路開拓支援補助金

本市に機能を置くスタートアップ企業等の事業拡大を支援するため、東京における拠点経費の一部を助成する制度です。

●小規模企業経営基盤強化設備投資補助金

市内で営利を目的とした事業を 5 年以上継続的に営む小規模企業経営者の方が、市内の事業所に新たに設置する機械設備等を取得する場合に、その経費の一部を助成する制度です。

(2) 助成金とは

助成金は、国や地方自治体が支給するものです。審査はなく、要件を満たせばどの事業者でも受け取れるのが特徴です。

助成金例（令和 4 年 1 月 1 日現在）

<国の制度>

●雇用調整助成金

景気の変動、産業構造の変化などの経済上の理由により事業活動の縮小を余儀なくされた場合に、休業、教育訓練、または出向によって、その雇用する労働者の雇用の維持を図る事業主に対して助成されます。

●キャリアアップ助成金

有期雇用労働者、短時間労働者、派遣労働者といった、いわゆる非正規雇用労働者の企業内でのキャリアアップを促進するため、正社員化、処遇改善の取組を実施した事業主に対して助成する制度です。

正社員化コース、賃金規定等改定コース、賃金規定等共通化コースなどのコースがあります。